

平成21年6月に施行された「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」に、効果的な歯科保健対策として学校等におけるフッ化物洗口の推進が盛り込まれました。旭川市教育委員会では、啓発活動等の取組のほか、学校歯科医との連携により、平成24年度から市立の全小学校でフッ化物洗口を導入しています。平成24年度以降、本市の「永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数」(12歳)は以下のとおり減少してきております。

＜学校保健統計による「永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数」(12歳)の推移＞

(単位:本)

[地域] \ [年度]	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
①旭川市(12歳)	1.62	1.59	1.30	1.21	0.95	0.77	0.78	0.82	0.83	0.74	0.79	0.78	0.58
②北海道(12歳)	1.50	1.80	1.80	1.30	1.10	1.50	1.20	1.00	1.00	1.00	0.80	0.70	0.80
③全国(12歳)	1.10	1.05	1.00	0.90	0.84	0.82	0.74	0.70	0.68	0.63	0.56	0.55	0.53
④新潟県(12歳)	0.60	0.60	0.50	0.40	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30	0.20	0.30	0.20	0.10

← 平成24年度から旭川市立小学校全校でフッ化物洗口を導入
 ← F(処置歯数)D(未処置歯数)M(喪失歯数)の割合を合計したもの(旭川市教育委員会集計の学校保健統計による)
 ← FDMの割合を合計したもの(文部科学省集計の学校保健統計による)
 ← 全国1位

